

# 濃度計量証明書

AJ-19122501-2

2020年1月14日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター

栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号

望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2019年12月25日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	2.4	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	2.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	2.2	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	2.4	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.23	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	0.25	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外

$\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積

計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 19122501 - 1/4

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン																
発生施設名		廃棄物焼却炉																
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13																
測定年月日・時刻		2019年12月25日		9時59分 ~ 14時30分														
測定者名		岡本・丸山・別府																
測定項目		測定結果		基準値														
単位		測定結果		基準値														
全水銀実測濃度	( $O_s = 12.8\%$ )	2.4		—	$\mu\text{g}/\text{m}^3$													
全水銀補正濃度	( $O_n = 12\%$ )	2.7		50	$\mu\text{g}/\text{m}^3$													
ガス状水銀実測濃度	( $O_s = 12.8\%$ )	2.2		—	$\mu\text{g}/\text{m}^3$													
ガス状水銀補正濃度	( $O_n = 12\%$ )	2.4		—	$\mu\text{g}/\text{m}^3$													
粒子状水銀実測濃度	( $O_s = 12.8\%$ )	0.23		—	$\mu\text{g}/\text{m}^3$													
粒子状水銀補正濃度	( $O_n = 12\%$ )	0.25		—	$\mu\text{g}/\text{m}^3$													
(以下余白)																		
測 定 条 件	湿り排ガス量	( $\text{m}^3/\text{h}$ )	39700	排ガス流速	( $\text{m}/\text{s}$ )	8.6												
	乾き排ガス量	( $\text{m}^3/\text{h}$ )	34300	稼働時間	( $\text{h}/\text{日}$ )	24												
	排ガス温度	( $^{\circ}\text{C}$ )	169	焼却能力	( $\text{kg}/\text{h}$ )	1550												
	排ガス水分量	(%)	13.6	炉容積	( $\text{m}^3$ )	—												
	排ガス酸素濃度	(%)	11.1	硫黄分	— (%)	窒素分 — (%)												
	排ガス静圧	( $\text{kPa}$ )	0.1	水素分	— (%)	水分 — (%)												
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 $H_0 = 25.0\text{ m}$		吐出口断面積 $A = 2.074\text{ m}^2$ 測定点断面積 $A_1 = 2.074\text{ m}^2$ 測定点半径 $R = 0.813\text{ m}$														
	測定点断面																	
	単位 : $\mu\text{g}/\text{m}^3$		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>検出下限</th> <th>定量下限</th> </tr> <tr> <td>ガス状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>粒子状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>全水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> </table>					検出下限	定量下限	ガス状水銀	0.03	0.10	粒子状水銀	0.03	0.10	全水銀	0.03	0.10
		検出下限	定量下限															
ガス状水銀	0.03	0.10																
粒子状水銀	0.03	0.10																
全水銀	0.03	0.10																
全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度																		
各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。																		
各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。																		

# 濃度計量証明書

AJ-19122501-1

2020年1月14日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター

栃木県那須郡那珂川町北向田231-2

電話番号 0287(92)5723

環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号

望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2019年12月25日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	95	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	150	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	160	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	93	vol ppm	
補正濃度 *	98	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	96	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 19122501 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2019年12月25日		9時59分 ~ 14時25分	
測定者名	岡本・丸山・別府			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 12.7 %)	0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.002未満	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.9 %)	95	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	100	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 12.5 %)	150	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	160	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 12.5 %)	93	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	98	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	96	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	3.3	25.7	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	2.2	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39700	排ガス流速 (m/s)	8.6
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	34300	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	169	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	13.6	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.1	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	

# 濃度計量証明書

AJ-20021001

2020年2月13日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
 事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
 事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
 環境センター  
 栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
 電話番号 0287(92)5723  
 環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
 望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2020年2月10日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.005	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.006	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	130	vol ppm	
補正濃度 *	140	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	140	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	170	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	91	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
硫黄酸化物	38	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
 m<sup>3</sup> : 0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 20021001 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2020年2月10日		9時22分 ~ 11時00分	
測定者名	甚内・江並			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 12.8 %)	0.005	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.006	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.5 %)	130	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	140	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 13.3 %)	140	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	170	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 13.3 %)	91	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	100	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	38	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	1.1	25.7	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	0.79	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38900	排ガス流速 (m/s)	8.5
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30500	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	173	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	21.7	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.4	硫黄分 (%)	—
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 (%)	—
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点半径 R = 0.813 m	
<p>測定点断面</p> <p>A・D・E・H = 0.966R B・C・F・G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>				

# 特定濃度計量証明書

AD-20040701 (1/2)

2020年5月11日

株式会社 ジャパンクリーン

様



特定計量証明事業認定番号 N-0063-01

特定計量証明事業登録番号 第41044号

事業者名 株式会社 環境生物化学研究所

事業所名 株式会社 環境生物化学研究所

環境センター

栃木県那須郡那珂川町北向田231-2

電話番号 0287(92)5723

環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号

野澤紀友

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2020年4月7日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ダイオキシン類	実測濃度 3.3	ng/m <sup>3</sup>	JIS K 0311(2008)
	補正濃度 * 3.2	ng/m <sup>3</sup>	
	毒性等量 * 0.034	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

# 濃度計量証明書

AJ-20040701-3

2020年 5月11日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2020年4月7日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	2.3	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	2.2	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	1.8	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	1.8	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.45	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	0.44	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外

$\text{m}^3$  : 0°C、101.32kPaにおける体積

計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。



指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 20040701 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2020年4月7日		10時08分 ~ 15時05分
測定者名	岡本・丸山・内山		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 11.7 %)	2.3	—	µg/m <sup>3</sup>
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	2.2	50	µg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀実測濃度 (Os = 11.7 %)	1.8	—	µg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	1.8	—	µg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀実測濃度 (Os = 11.7 %)	0.45	—	µg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	0.44	—	µg/m <sup>3</sup>
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39900	排ガス流速 (m/s)	8.7
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	34900	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	168	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	12.5	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
排ガス酸素濃度 (%)	11.1	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)

測定条件

測定位置及びダクトの形状寸法・測定点

煙突高 H<sub>0</sub> = 25.0 m

吐出口断面積 A = 2.074 m<sup>2</sup>

測定点断面積 A<sub>1</sub> = 2.074 m<sup>2</sup>

測定点半径 R = 0.813 m

単位: µg/m<sup>3</sup>

	検出下限	定量下限
ガス状水銀	0.03	0.10
粒子状水銀	0.03	0.10
全水銀	0.03	0.10

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度  
 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-20040701-2

2020年 5月11日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2020年4月7日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.007	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.007	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	110	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	110	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	70	vol ppm	
補正濃度 *	68	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	58	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup> : 0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 20040701 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2020年4月7日 10時08分 ~ 15時00分		
測定者名		岡本・丸山・内山		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 12.1 %)		0.007	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.007	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.8 %)		100	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		100	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 11.8 %)		110	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		110	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 11.8 %)		70	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		68	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		58	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		2.0	25.7	m <sup>3</sup> /h
実測 K 値		1.3	17.5 (K 値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39900	排ガス流速 (m/s)	8.7
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	34900	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	168	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	12.5	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.1	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>
				測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
				測定点半径 R = 0.813 m

# 濃度計量証明書

AJ-20061201  
2020年6月22日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
 事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
 事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
 環境センター  
 栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
 電話番号 0287(92)5723  
 環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
 望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2020年6月12日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.021	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.021	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	120	vol ppm	
補正濃度 *	110	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	95	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	94	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	58	vol ppm	
補正濃度 *	58	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	15	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
 m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 20061201 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2020年6月12日		9時38分 ~ 12時00分
測定者名		小森・廣田		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 12.1 %)		0.021	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.021	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.9 %)		120	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		110	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 11.9 %)		95	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		94	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 11.9 %)		58	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		58	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		15	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		0.47	25.9	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.32	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測 定 条 件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38500	排ガス流速 (m/s)	8.6
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30900	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	177	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	19.6	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	12.1	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点		煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup> 測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup> 測定点半径 R = 0.813 m
測定点断面		<p>A · D · E · H = 0.866R B · C · F · G = 0.500R O = 中心</p>		

# 濃度計量証明書

AJ-20082201-2

2020年9月9日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
 事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
 事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
 環境センター

栃木県那須郡那珂川町北向田231-2

電話番号 0287(92)5723

環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号

望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2020年8月22日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	4.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	3.8	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	3.9	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	3.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	(0.08)	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	(0.07)	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
 計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 20082201 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン															
発生施設名	廃棄物焼却炉															
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13															
測定年月日・時刻	2020年8月22日		9時46分 ~ 14時35分													
測定者名	廣田・丸山・内山															
測定項目	測定結果	基準値	単位													
全水銀実測濃度 (Os = 11.4 %)	4.0	—	μg/m <sup>3</sup>													
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	3.8	50	μg/m <sup>3</sup>													
ガス状水銀実測濃度 (Os = 11.4 %)	3.9	—	μg/m <sup>3</sup>													
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	3.7	—	μg/m <sup>3</sup>													
粒子状水銀実測濃度 (Os = 11.4 %)	(0.08)	—	μg/m <sup>3</sup>													
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	(0.07)	—	μg/m <sup>3</sup>													
(以下余白)																
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38900	排ガス流速 (m/s)	8.6												
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32300	稼働時間 (h/日)	24												
	排ガス温度 (°C)	177	焼却能力 (kg/h)	1550												
	排ガス水分量 (%)	16.9	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—												
	排ガス酸素濃度 (%)	11.2	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)												
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)												
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup>													
			測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>													
			測定点半径 R = 0.813 m													
			単位 : μg/m <sup>3</sup>													
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>検出下限</td> <td>定量下限</td> </tr> <tr> <td>ガス状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>粒子状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>全水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> </table>			検出下限	定量下限	ガス状水銀	0.03	0.10	粒子状水銀	0.03	0.10	全水銀	0.03	0.10
		検出下限	定量下限													
ガス状水銀	0.03	0.10														
粒子状水銀	0.03	0.10														
全水銀	0.03	0.10														
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>測定点断面</p> <p>A・D・E・H = 0.866R B・C・F・G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p> </div> </div> <p>全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。</p>																

# 濃度計量証明書

AJ-20082201-1

2020年9月9日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
 事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
 事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
 環境センター  
 栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
 電話番号 0287(92)5723  
 環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
 望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2020年8月22日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.021	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.019	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	240	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	230	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	150	vol ppm	
補正濃度 *	140	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	46	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
 m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積



指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 20082201 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2020年8月22日		9時46分 ~ 14時30分	
測定者名	廣田・丸山・内山			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 11.2 %)	0.021	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.019	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.3 %)	110	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	100	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 11.5 %)	240	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	230	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 11.5 %)	150	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	140	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	46	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	1.4	26.0	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	1.0	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38900	排ガス流速 (m/s)	8.6
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32300	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	177	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	16.9	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.2	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
測定点断面		測定点半径 R = 0.813 m		

# 濃度計量証明書

AJ-20101501  
2020年10月27日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
 事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
 事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
 環境センター  
 栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
 電話番号 0287(92)5723  
 環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
 望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2020年10月15日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	180	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	170	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	46	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
 m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 20101501 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2020年10月15日		10時01分 ~ 11時50分	
測定者名	内山・大森・丸山			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 11.7 %)	0.001	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.001	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.6 %)	100	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	100	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 11.4 %)	180	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	170	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 11.4 %)	110	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	100	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	46	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	1.5	26.2	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	1.0	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39600	排ガス流速 (m/s)	8.7
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	33200	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	175	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	16.1	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.9	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
	測定点断面		測定点半径 R = 0.813 m	
	<p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>			

# 濃度計量証明書

AJ-20121601-2

2021年 1月12日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2020年12月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	2.1	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	1.9	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	2.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	1.8	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.11	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	0.10	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の”ND”は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 20121601 - 1/4

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン													
発生施設名		廃棄物焼却炉													
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13													
測定年月日・時刻		2020年12月16日 10時00分 ~ 14時40分													
測定者名		丸山・大森													
測定項目	測定結果	基準値	単位												
全水銀実測濃度 (Os = 11.2 %)	2.1	—	µg/m <sup>3</sup>												
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	1.9	50	µg/m <sup>3</sup>												
ガス状水銀実測濃度 (Os = 11.2 %)	2.0	—	µg/m <sup>3</sup>												
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	1.8	—	µg/m <sup>3</sup>												
粒子状水銀実測濃度 (Os = 11.2 %)	0.11	—	µg/m <sup>3</sup>												
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	0.10	—	µg/m <sup>3</sup>												
(以下余白)															
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39700	排ガス流速 (m/s)	8.7											
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	33200	稼働時間 (h/日)	24											
	排ガス温度 (°C)	172	焼却能力 (kg/h)	1550											
	排ガス水分量 (%)	16.2	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—											
	排ガス酸素濃度 (%)	10.7	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)											
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)											
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>											
				測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>											
				測定点半径 R = 0.813 m											
		単位: µg/m <sup>3</sup>													
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>検出下限</td> <td>定量下限</td> </tr> <tr> <td>ガス状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>粒子状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>全水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> </table>				検出下限	定量下限	ガス状水銀	0.03	0.10	粒子状水銀	0.03	0.10	全水銀	0.03	0.10
	検出下限	定量下限													
ガス状水銀	0.03	0.10													
粒子状水銀	0.03	0.10													
全水銀	0.03	0.10													

測定点断面

A · D · E · H = 0.866R  
 B · C · F · G = 0.500R  
 O = 中心

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度  
 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-20121601-1

2021年 1月12日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2020年12月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	150	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	140	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	97	vol ppm	
補正濃度 *	89	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	44	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 20121601 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2020年12月16日		10時00分 ~ 12時05分	
測定者名	丸山・大森			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 11.5 %)	0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.3 %)	110	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	100	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 11.2 %)	150	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	140	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 11.2 %)	97	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	89	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	44	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	1.4	25.9	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	0.99	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39700	排ガス流速 (m/s)	8.7
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	33200	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	172	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	16.2	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	10.7	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup> 測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup> 測定点半径 R = 0.813 m	
<p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>				

# 濃度計量証明書

AJ-21022701  
2021年3月9日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年2月27日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	120	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	140	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	170	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	88	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	13	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積



指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 21022701 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2021年2月27日 13時53分 ~ 15時23分		
測定者名		甚内・岡本		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 13.0 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.002未満	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.9 %)		110	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		120	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 13.7 %)		140	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		170	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 13.7 %)		88	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		100	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		13	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		0.42	25.2	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.29	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38300	排ガス流速 (m/s)	8.3
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	31800	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	170	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	16.9	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	13.3	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
	測定点断面		測定点半径 R = 0.813 m	
	<p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p>			
	測定孔			

# 特定濃度計量証明書

AD-21042401 (1/2)

2021年 5月24日

株式会社 ジャパンクリーン

様



特定計量証明事業認定番号 N-0063-01

特定計量証明事業登録番号 第41044号

事業者名 株式会社 環境生物化学研究所

事業所名 株式会社 環境生物化学研究所

環境センター

栃木県那須郡那珂川町北向田231-2

電話番号 0287(92)5723

環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号

野澤紀友

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年4月24日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ダイオキシン類	実測濃度 4.7	ng/m <sup>3</sup>	JIS K 0311(2020)
	補正濃度 * 4.2	ng/m <sup>3</sup>	
	毒性等量 * 0.043	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

# 濃度計量証明書

AJ-21042401-3

2021年 5月24日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年4月24日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	2.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	2.2	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	2.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	2.2	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
、 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。



# 濃度計量証明書

AJ-21042401-2

2021年5月24日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年4月24日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	120	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	170	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	130	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	84	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	49	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積



# 濃度計量証明書

AJ-21062301  
2021年6月25日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年6月23日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.003	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	95	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	260	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	220	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	160	vol ppm	
補正濃度 *	130	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	88	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積





# 濃度計量証明書

AJ-21082001-1

2021年 8月24日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

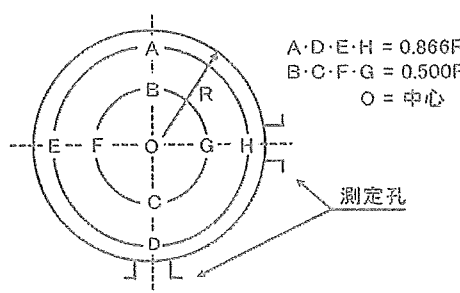
事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年8月20日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	88	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	120	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	120	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	75	vol ppm	
補正濃度 *	78	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	69	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 21082001 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン					
発生施設名		廃棄物焼却炉					
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13					
測定年月日・時刻		2021年8月20日		9時55分 ~ 12時25分			
測定者名		丸山・大木・鈴木(奎)					
測定項目		測定結果		基準値		単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 13.3 %)		0.001未満		-		g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.002未満		0.15		g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 13.1 %)		88		-		vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		100		250		vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 12.3 %)		120		-		mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		120		700		mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 12.3 %)		75		-		vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		78		-		vol ppm	
硫黄酸化物濃度		69		-		vol ppm	
硫黄酸化物排出量		2.1		24.8		m <sup>3</sup> /h	
実測 K値		1.5		17.5 (K値)		-	
(以下余白)							
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	36900	排ガス流速 (m/s)	8.0			
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	31600	稼働時間 (h/日)	24			
	排ガス温度 (°C)	172	焼却能力 (kg/h)	1550			
	排ガス水分量 (%)	14.6	炉容積 (m <sup>3</sup> )	-			
	排ガス酸素濃度 (%)	14.6	硫黄分 (%)	-	窒素分 (%)	-	(%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 (%)	-	水分 (%)	-	(%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup>			
	測定点断面			測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>			
				測定点半径 R = 0.813 m			
		 <p style="text-align: center;">測定点断面</p> <p style="text-align: center;">A · D · E · H = 0.866R B · C · F · G = 0.500R O = 中心</p>					

# 濃度計量証明書

AJ-21082001-2

2021年9月1日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター

栃木県那須郡那珂川町北向田231-2

電話番号 0287(92)5723

環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号

野澤 紀友

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年8月20日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	6.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	6.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	5.3	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	5.8	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.64	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	0.69	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外

$\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積

計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 21082001 - 1/4

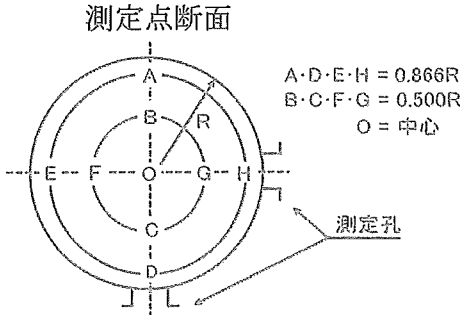
発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2021年8月20日		9時55分 ~ 17時04分
測定者名	丸山・大木・鈴木(奎)		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 12.7 %)	6.0	—	µg/m³
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	6.5	50	µg/m³
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.7 %)	5.3	—	µg/m³
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	5.8	—	µg/m³
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.7 %)	0.64	—	µg/m³
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	0.69	—	µg/m³
(以下余白)			

測定条件	湿り排ガス量 (m³/h)	36900	排ガス流速 (m/s)	8.0
	乾き排ガス量 (m³/h)	31600	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	172	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	14.6	炉容積 (m³)	—
	排ガス酸素濃度 (%)	14.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)

測定位置及びダクトの形状寸法・測定点

煙突高 H<sub>0</sub> = 25.0 m

吐出口断面積 A = 2.074 m²  
測定点断面積 A<sub>i</sub> = 2.074 m²  
測定点半径 R = 0.813 m



単位: µg/m³

	検出下限	定量下限
ガス状水銀	0.03	0.10
粒子状水銀	0.03	0.10
全水銀	0.03	0.10

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度  
各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-21101501  
2021年10月22日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年10月15日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	95	vol ppm	
補正濃度 *	71	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	230	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	180	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	140	vol ppm	
補正濃度 *	110	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	220	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 21101501 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2021年10月15日		10時00分 ~ 11時55分	
測定者名	丸山・鈴木(奎)			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 8.7 %)	0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 9.0 %)	95	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	71	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 9.6 %)	230	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	180	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 9.6 %)	140	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	110	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	220	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	6.2	25.5	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	4.3	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38800	排ガス流速 (m/s)	8.5
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	28300	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	171	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	27.1	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	10.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
		測定点半径 R = 0.813 m		
	<p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>			

# 濃度計量証明書

AJ-21121401-2  
2021年12月21日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

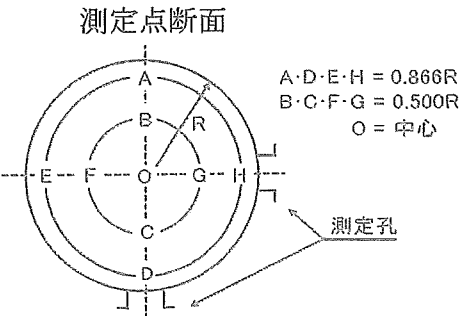
事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年12月14日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	5.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	5.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	5.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	5.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0℃、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ-21121401 - 1/4

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2021年12月14日 9時50分 ~ 15時05分		
測定者名		内山・大森・林		
測定項目		測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 11.9 %)		5.7	—	µg/m <sup>3</sup>
全水銀補正濃度 (On = 12 %)		5.7	50	µg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀実測濃度 (Os = 11.9 %)		5.7	—	µg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)		5.7	—	µg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀実測濃度 (Os = 11.9 %)		ND	—	µg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)		ND	—	µg/m <sup>3</sup>
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39400	排ガス流速 (m/s)	8.5
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32800	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	164	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	16.7	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	10.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup> 測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup> 測定点半径 R = 0.813 m
	 <p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>		単位：µg/m <sup>3</sup>	
		検出下限	定量下限	
		ガス状水銀	0.03 0.10	
		粒子状水銀	0.03 0.10	
		全水銀	0.03 0.10	
全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。				



# 濃度計量証明書

AJ-22021801  
2022年2月22日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年2月18日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.004	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.004	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	98	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	100	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	120	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	64	vol ppm	
補正濃度 *	74	vol ppm	
硫黄酸化物	22	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup> : 0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22021801 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2022年2月18日		9時53分 ~ 11時30分	
測定者名	丸山・大森			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 13.0 %)	0.004	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.004	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.9 %)	98	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	100	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 13.3 %)	100	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	120	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 13.3 %)	64	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	74	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	22	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	0.72	24.8	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	0.51	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38200	排ガス流速 (m/s)	8.2
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32400	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	166	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	15.2	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	14.5	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
	<p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>			

# 特定濃度計量証明書

AD-22041601 (1/2)

2022年 5月 13日

株式会社 ジャパンクリーン

様



特定計量証明事業認定番号 N-0063-01  
特定計量証明事業登録番号 第41044号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 8704号  
柳田 聖 司

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年4月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ダイオキシン類	実測濃度 17	ng/m <sup>3</sup>	JIS K 0311(2020)
	補正濃度 * 17	ng/m <sup>3</sup>	
	毒性等量 * 0.22	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

# 濃度計量証明書

AJ-22041601-3

2022年 5月13日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年4月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	5.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	5.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	3.9	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	4.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	1.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	1.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0℃、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の“ND”は、検出下限未満であることを示す。

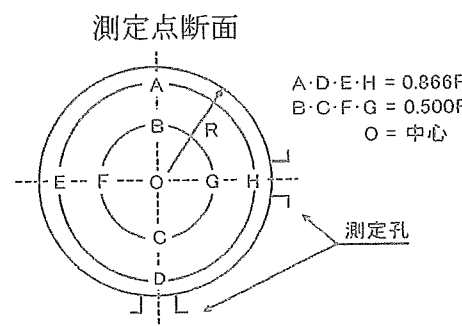
指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22041601 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2022年4月16日	9時53分 ~ 14時25分	
測定者名	丸山・内山・大森		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	5.0	—	µg/m <sup>3</sup>
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	5.0	50	µg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	3.9	—	µg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	4.0	—	µg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	1.0	—	µg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	1.0	—	µg/m <sup>3</sup>
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39200	排ガス流速 (m/s)	8.5
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32500	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	168	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	17.0	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
排ガス酸素濃度 (%)	12.5	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)

測定位置及びダクトの形状寸法・測定点  
 煙突高 H<sub>0</sub> = 25.0 m  
 吐出口断面積 A = 2.074 m<sup>2</sup>  
 測定点断面積 A<sub>1</sub> = 2.074 m<sup>2</sup>  
 測定点半径 R = 0.813 m



単位 : µg/m<sup>3</sup>

	検出下限	定量下限
ガス状水銀	0.03	0.10
粒子状水銀	0.03	0.10
全水銀	0.03	0.10

測定条件

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度  
 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-22041601-2

2022年5月13日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

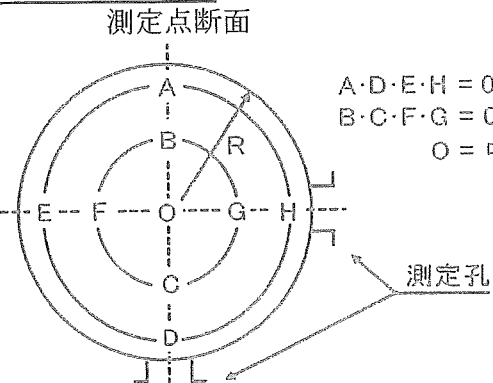
事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年4月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	57	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	66	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	35	vol ppm	
補正濃度 *	40	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	4	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22041601 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2022年4月16日	9時53分 ~ 14時20分	
測定者名		丸山・内山・大森		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 13.0 %)		0.001	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.1 %)		100	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		100	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 13.1 %)		57	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		66	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 13.1 %)		35	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		40	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		4	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		0.13	25.4	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.09	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39200	排ガス流速 (m/s)	8.5
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32500	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	168	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	17.0	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	12.5	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
		 <p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>		

# 濃度計量証明書

AJ-22061001  
2022年6月15日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年6月10日

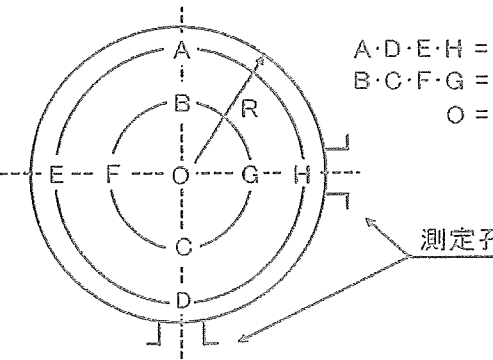
計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.017	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.016	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	97	vol ppm	
補正濃度 *	92	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	440	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	390	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	270	vol ppm	
補正濃度 *	230	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	190	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積



指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22061001 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2022年6月10日 11時58分 ~ 13時20分		
測定者名		丸山・大森・林		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 11.7 %)		0.017	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.016	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.5 %)		97	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		92	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 10.8 %)		440	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		390	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 10.8 %)		270	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		230	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		190	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		5.8	25.0	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		4.1	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	37700	排ガス流速 (m/s)	8.2
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30400	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	170	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	19.3	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.4	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
	<p>測定点断面</p>  <p>A · D · E · H = 0.866R          B · C · F · G = 0.500R          O = 中心</p>			

# 濃度計量証明書

AJ-22081901-1

2022年9月2日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

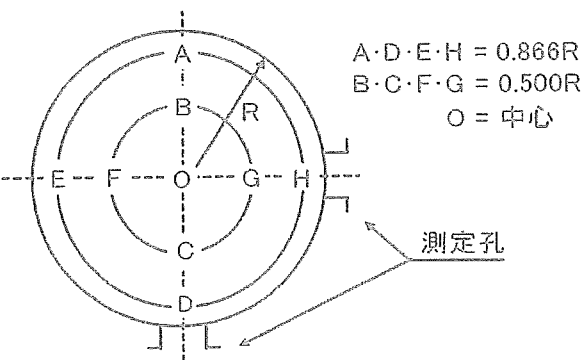
事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年8月19日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	98	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	15未満	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	17未満	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	10未満	vol ppm	
補正濃度 *	11未満	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	5未満	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22081901 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2022年8月19日 10時11分～14時55分		
測定者名		丸山・林		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 12.8 %)		0.001	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.2 %)		98	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		100	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 12.8 %)		15未満	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		17未満	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 12.8 %)		10未満	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		11未満	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		5未満	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		0.16未満	24.9	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.11未満	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測 定 条 件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	37600	排ガス流速 (m/s)	8.3
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30600	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	170	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	18.5	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.9	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
		 <p>A · D · E · H = 0.866R B · C · F · G = 0.500R O = 中心</p>		

# 濃度計量証明書

AJ-22081901-2

2022年9月2日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

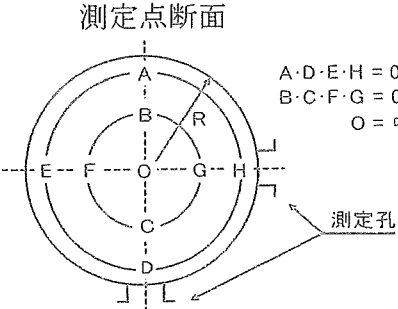
事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年8月19日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	2.3	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	2.3	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	1.9	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	2.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.32	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	0.33	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22081901 - 1/4

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン															
発生施設名		廃棄物焼却炉															
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13															
測定年月日・時刻		2022年8月19日		10時11分 ~ 15時02分													
測定者名		丸山・林															
測定項目		測定結果		基準値													
単位																	
全水銀実測濃度 (Os = 12.2 %)		2.3		—													
全水銀補正濃度 (On = 12 %)		2.3		50													
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.2 %)		1.9		—													
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)		2.0		—													
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.2 %)		0.32		—													
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)		0.33		—													
(以下余白)																	
測 定 条 件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	37600	排ガス流速 (m/s)	8.3													
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30600	稼働時間 (h/日)	24													
	排ガス温度 (°C)	170	焼却能力 (kg/h)	1550													
	排ガス水分量 (%)	18.5	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—													
	排ガス酸素濃度 (%)	11.9	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)													
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)													
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点		煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>												
				測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>													
				測定点半径 R = 0.813 m													
				単位 : µg/m <sup>3</sup>													
				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>検出下限</th> <th>定量下限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガス状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>粒子状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>全水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> </tbody> </table>			検出下限	定量下限	ガス状水銀	0.03	0.10	粒子状水銀	0.03	0.10	全水銀	0.03	0.10
	検出下限	定量下限															
ガス状水銀	0.03	0.10															
粒子状水銀	0.03	0.10															
全水銀	0.03	0.10															
<p>全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度</p> <p>各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。</p> <p>各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。</p>																	

# 濃度計量証明書

AJ-22101501  
2022年10月21日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

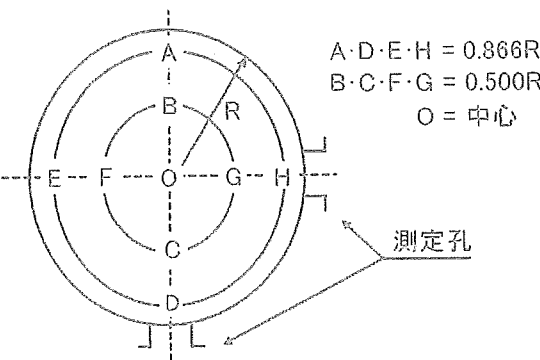
事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年10月15日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	370	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	340	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	220	vol ppm	
補正濃度 *	210	vol ppm	
硫黄酸化物	150	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22101501 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2022年10月15日 9時43分 ~ 11時20分		
測定者名		丸山・内山		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 10.8 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 10.8 %)		110	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		100	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 11.3 %)		370	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		340	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 11.3 %)		220	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		210	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		150	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		4.4	23.9	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		3.2	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	36400	排ガス流速 (m/s)	7.8
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	28800	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	164	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	20.9	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	12.5	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
	測定点断面		測定点半径 R = 0.813 m	
	 <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p>			
	測定孔			

# 濃度計量証明書

AJ-22121601-2  
2022年12月27日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年12月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	3.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	3.6	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	2.6	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	2.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.90	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	0.91	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。



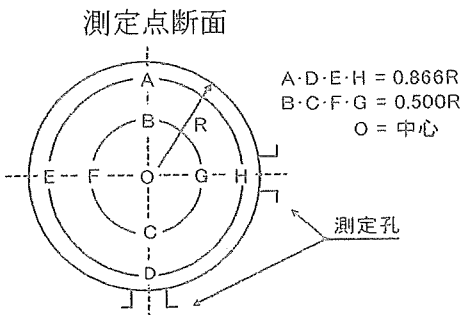
指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22121601 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2022年12月16日		9時34分 ~ 14時19分
測定者名	丸山・林・鈴木(奎)		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	3.5	—	μg/m <sup>3</sup>
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	3.6	50	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	2.6	—	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	2.7	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	0.90	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	0.91	—	μg/m <sup>3</sup>
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	35700	排ガス流速 (m/s)	7.7
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	28400	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	164	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	20.3	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
排ガス酸素濃度 (%)	12.2	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)

測定位置及びダクトの形状寸法・測定点  
 煙突高 H<sub>0</sub> = 25.0 m  
 吐出口断面積 A = 2.074 m<sup>2</sup>  
 測定点断面積 A<sub>1</sub> = 2.074 m<sup>2</sup>  
 測定点半径 R = 0.813 m



単位 : μg/m<sup>3</sup>

	検出下限	定量下限
ガス状水銀	0.03	0.10
粒子状水銀	0.03	0.10
全水銀	0.03	0.10

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度  
 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-22121601-1  
2022年12月27日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年12月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.003	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.003	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	78	vol ppm	
補正濃度 *	79	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	180	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	220	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	140	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	8	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup> : 0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22121601 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2022年12月16日 9時34分 ~ 14時15分		
測定者名		丸山・林・鈴木(奎)		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 12.2 %)		0.003	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.003	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.1 %)		78	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		79	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 13.6 %)		180	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		220	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 13.6 %)		110	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		140	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		8	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		0.23	23.7	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.17	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	35700	排ガス流速 (m/s)	7.7
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	28400	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	164	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	20.3	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	12.2	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
<p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R          B·C·F·G = 0.500R          O = 中心</p> <p>測定孔</p>				